

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
北海道鍼灸専門学校		昭和52年2月28日		川浪 勝弘		〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条6丁目5-10 (電話)011-642-5051																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人北海道鍼灸専門学校		平成18年12月1日		笠井 正晴		〒063-0002 北海道札幌市西区山の手2条6丁目5-10 (電話)011-642-5051																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
医療	医療専門課程	鍼灸科				平成6年文部科学省 告示第84号																			
学科の目的	学校基本法及び学校教育法に従い、地域医療を担う視野の広い豊かな人間性を有する鍼灸師を育むことを目的とする。																								
認定年月日	平成26年4月1日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
3	夜間	2655時間	1860時間	30時間	225時間	60時間	480時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
90人		83人	0人	8人	10人	18人																			
学期制度	■前期:4月1日～9月31日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ①各科目出席率70%以上、実技については80%以上。 ②成績、提出物、授業態度等を総合的に判断し100点満点中、85点以上を「優」、70～84点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とする。																			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月20日～1月10日 ■春季:3月21日～3月31日			卒業・進級条件		進級条件:その年度で履修すべき全ての授業科目を履修し、単位を取得すること。 卒業条件:開講される全ての科目を履修し単位を取得すること。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 クラス担任による面談を行い、心身のサポートや経済的支援に関する相談等に対応している。また、保護者・保証人等と連携を取り、安定した修学ができるよう努めている。			課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学会参加、夏期治療院研修、図書委員、学校祭実行委員 ■サークル活動: 有																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和4年度卒業生) 病院、治療院 等 ■就職指導内容 就職活動支援課を中心として開業している鍼灸治療院、企業、関連する専門学校を招聘しガイダンスを行った。また1年次より「治療院研修」を実施し、職業意識を高めることに努めている。 ■卒業生数 28 人 ■就職希望者数 17 人 ■就職者数 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 60.7 % ■その他 ・進学者数: 1人 (令和3年度卒業生に関する 令和4年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はり師</td> <td>②</td> <td>28人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>きゆう師</td> <td>②</td> <td>28人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	はり師	②	28人	23人	きゆう師	②	28人	23人				
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
はり師	②	28人	23人																						
きゆう師	②	28人	23人																						

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 1%</p> <p>令和5年5月1日時点において、在学者62名（令和5年4月1日入学者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任による学生相談及び、学校独自の奨学金制度、学費納入分割等で就学支援を行っている。</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:有 ※有の場合、制度内容を記入 割引:北海道柔道整復専門学校との同時入学により入学金200,000円、授業料1,980,000円のうち495,000円を免除 奨学金:1)北海道鍼灸専門学校奨学金:学業状況、経済状況を加味し決定する希望者への奨学金、月額30,000円 ■専門実践教育訓練給付:給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 23人程度</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価:無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>URL:<a href="http://www.shinkyu.ac.jp">http://www.shinkyu.ac.jp</a></p>

(留意事項)  
1. 公表年月日(※1)  
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)  
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。  
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。  
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。  
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。  
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。  
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。